

とざわ

Public Relations of TOZAWA

巻頭
記事

とざわフォト
コンテスト2017

広報

No.555 2018年(平成30年)2月号

鬼はそと！福はうち！

2
Feb



とぎわフォト コンテスト 2017

12月14日（木）、とぎわフォトコンテスト2017審査
会が開催され、100作品を超える応募の中から入賞作品
18点が選ばれました。

問合せ先 戸沢村観光物産協会 ☎72-2110



「角川雪まつり」 戸塚 喜八さん（新庄市）



入選
「願いをランタンに託して」
松永 公太さん（埼玉県）



「躍 動」
佐々木 茂さん（秋田県）

まじこイブント部門



入選 「山車の出る頃」
奥山喜久雄さん（新庄市）



入選 「津谷祭」
加藤 喬さん（戸沢村）



入選 「てんぐさま」
加藤さほりさん（戸沢村）

逸品部門

優秀賞

「霧の中の鮭漁」

黒坂 祐治さん

(鮭川村)



入選

「レンコン名人」

森 茂さん (新庄市)



入選

「たばこかき」

柿崎よし子さん

(戸沢村)



入選 「注目の的」

富樫 馨さん (酒田市)



入選 「黄昏時の豊漁」

芳賀 和代さん (寒河江市)

風景部門

優秀賞

「帰り舟」

武谷 捷夫さん

(鶴岡市)



入選 「晩秋の彩り」

佐藤 洋一さん (新庄市)



入選 「巨木の森」

増川 満さん (河北町)



入選 「冬の絶景、最上峡」

山内 義夫さん (戸沢村)



入選 「御来光展望」

樽石 良一さん (村山市)

特別賞

船頭くん賞

「山村を走る」

斎藤 新一さん (鶴岡市)



「津谷神楽」

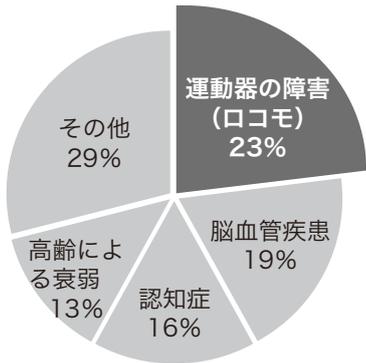
佐藤 良美さん (戸沢村)



たくさん
のご応募あり
がとうござい
ました!

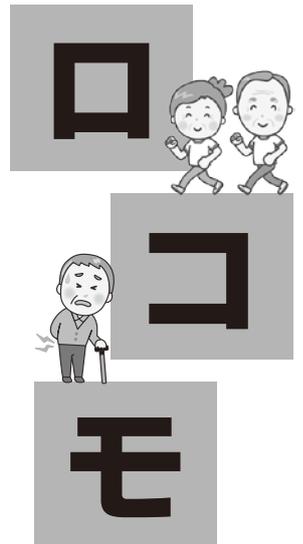


要介護・要支援になった原因



2017年厚生労働省「国民生活基礎調査」より

「ロコモ」ってなに？
 ロコモティブ・シンドローム（運動器症候群）の略称で、骨や関節、筋肉などを支え動かす役割をする器官の障害によって、「立つ」「歩く」などの日常生活に必要な移動能力が低下した状態のことをいいます。進行すると介護が必要になるリスクが高まると言われています。実際に、要介護・要支援状態になった原因として一番多いのが「ロコモ」という調査結果も出ています。



にご注意！

「ロコモ」に油断は禁物！

30代・40代で運動器に問題がないという方でも、週2回以上の運動習慣がない場合は、将来的にロコモになる可能性が高くなります。

また、50代以上の方で、膝関節症や腰痛、つまずきやすくなったなど体の衰えを感じるようになってきた人は、「ロコモ予備軍」の可能性があります。

なぜ「ロコモ」になるの？

ロコモの原因は主に、筋力の低下、バランス能力の低下、骨粗鬆症などの骨・筋肉・関節の病気とされています。筋力やバランス能力の低下は、加齢や運動不足によって引き起こされ、様々な病気を誘発しやすい体になってしまいます。ロコモを予防し、元気な毎日を送るためには、日頃の運動習慣が大切なのです！

あなたは大丈夫？

7つのロコチェック

7つの項目はすべて、骨や関節、筋肉などの運動器が衰えているサインです。ひとつでも当てはまればロコモの可能性があります。

- 片脚立ちで靴下をはけない
- 家の中でつまずいたりすべったりする
- 階段を上するのに手すりが必要である
- 家のやや重い仕事が困難である
- 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である
- 15分くらい続けて歩くことができない
- 横断歩道を青信号で渡りきれない

ロコモチャレンジ！推進協議会WEBサイトより



NPO法人アピラ
田中 玲さん

「介護予防指導員の資格をもち、保健センターで子供から大人まで様々な方の健康づくりのお手伝いを行う」

さあ！はじめよう今日からロコモ予防

筋力やバランス力が衰えると、膝や腰の病気が起きやすくなり、骨も次第に弱くなってしまいます。すると、体を動かす習慣が減り、さらに筋力やバランス力が衰え、ますます動けなくなってしまうという悪循環が起きるのです。

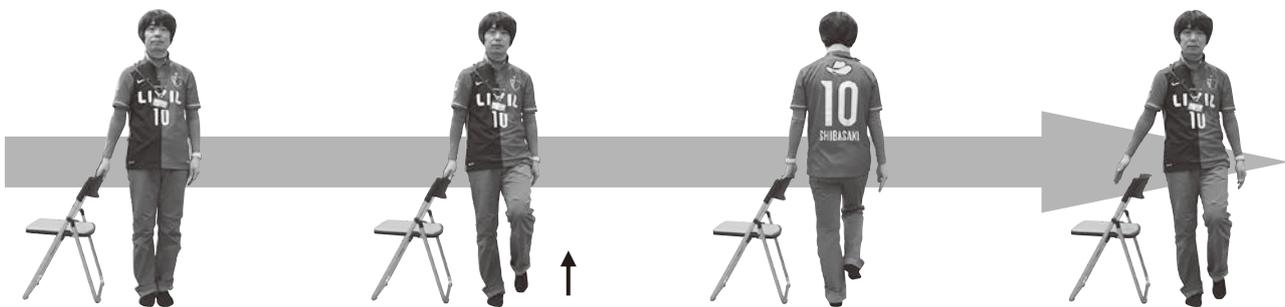
こうした悪循環に陥らないためには、日々の運動が大切になります。さらに、日々の運動は「骨密度の増加」や「うつ病の予防」、「不眠の解消、寝つきの改善」など様々なよい効果があると言われています。

ロコモ予防に遅いも早いもありません。自分の将来のために今から始めてみませんか。

Let's ロコモ予防トレーニング

(1) 片脚立ち

回数目安 左右1分間ずつ×1日3回



① イスなどの背もたれをもち、背筋を伸ばして立ちます。

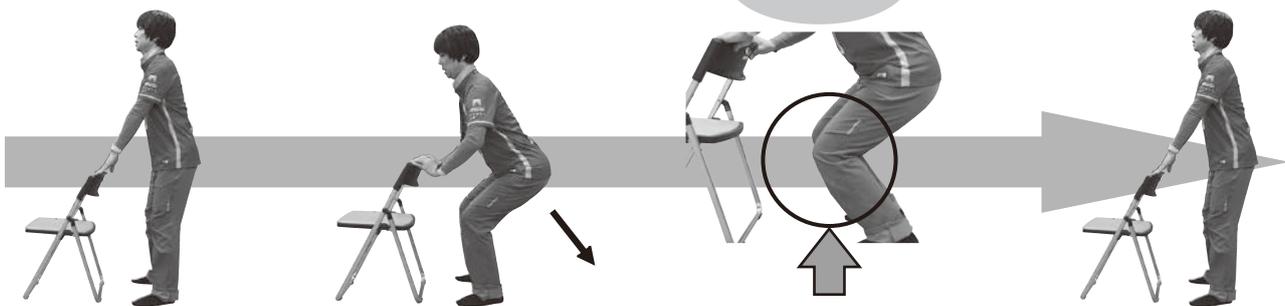
② イスと逆側の脚を床から持ち上げ、1分間保ちます。

③ 逆の脚も②と同様に行います。

余裕のある人はイスから手を離して挑戦してみましょう。

(2) スクワット

回数目安 1セット5～6回×1日3回



① イスなどを掴み、脚を肩幅より広めに開きます。

② お尻を後ろに引くように体を沈めます。

膝がつま先より前に出ないように注意！

③ ゆっくり①の姿勢に戻ります。

- ① エレベーターを使わず、なるべく階段を利用する
- ② 歩行時、歩幅を広くとり、早く歩く
- ③ 近場への移動は、徒歩又は自転車を利用する
- ④ テレビを見ながらストレッチ
- ⑤ 掃除や洗濯などの家事はキビキビと



**ロコモ予防へ！
普段の生活に
+ 10 のこと**

- ⑥ バランスのよい食生活を心がける
- ⑦ 毎日コップ一杯の牛乳や豆乳を摂取する
- ⑧ 天気の良い日は必ず1回は外に出るよう心がける
- ⑨ 背筋を伸ばし、常によい姿勢を心がける
- ⑩ 戸沢村保健センターを利用する





今月の一枚

神田地区で世代間交流

12月17日（日）、神田公民館にて、地区の児童・老人クラブの会員らによる「そば打ち・門松作り」が行われました。

児童らは、高橋隆一さん（神田）を講師に迎え、そば打ちを体験。老人クラブの会員の皆さんは、木村誠悦さん（神田）の指導のもと、立派な門松を制作し、公民館や保育所などに飾り付けしました。

最後に、一年の締めくくりとして、子どもたちお手製の打ちたてのそばをみんなで味わいました。

戸沢中生が村へ提言

12月26日（火）、戸沢中学校にて、戸沢中学校3年生による「戸沢村への提言」が行われ、村長をはじめとする村関係者が見守る中、生徒それぞれが考える村の活性化策をプレゼンしました。

生徒からは、「村の認知度upのためシネマハウスを建設してはどうか」、「健康増進や地域間の交流を促すため運動イベントを開催してはどうか」など多くの意見が出されました。村では、いただいた意見を参考にさせていただきながら村政運営を進めてまいります。



平成30年「新春のつどい」

1月11日（木）、中央公民館にて、新春のつどいが開催され、村議会議員や村の関係者など約70名が一堂に会し、新年の抱負を語り合うとともに、今年一年の飛躍を誓いました。

主催者である鈴木富士雄もがみ北部商工会戸沢支部長は「今年一年を更なる飛躍の年とするため、一丸となって頑張っていきましょう」とあいさつ。出席者はそれぞれ、名刺交換や年頭のあいさつを交わしていました。



県知事と意見交換

1月11日（木）、中央公民館にて、山形県知事による「ほのぼのの訪問」が行われ、角川の若者を中心として結成されている団体「角川元気プロジェクト」が吉村知事と意見交換を行いました。

角川元気プロジェクト代表の安食勇さんによる活動紹介の後、これからの活動について様々な意見交換が行われました。吉村知事は「若者が地域を支えるのは理想とする姿。これからもがんばってほしい」と激励していました。





一人ひとりが輝く地域へ

1月13日(土)、「地域を創る女性たちと描く最上の未来」をテーマに、最上地域を中心に活動する女性団体の代表によるパネルディスカッションが、新庄市にて開催されました。

戸沢村から、パネリストとして参加した星川麻奈美さん(下松坂)は、全国準優勝を果たした女性消防の活動や今後の課題について話し、質疑応答や他団体の方々とのふれあいの中で、地域づくりへの意気込みを新たにしていました。これからの活躍にも、期待しております。

楽しく税金を学ぶ

1月15日(月)、戸沢小学校にて、6年生を対象とした租税教室が行われました。

戸沢村役場住民税務課の荒川悠さんが講師を務め、税金に関するクイズやアニメを通して、税金の大切さを学びました。また、本物そっくりの見本の札束を実際に手にとり、「お金の重み」を肌で感じていました。

今回講義を受けた児童は「税金はみんなのためにあるものだと分かった」、「税金の大切さを改めて知った」などと感想を話していました。



民生委員・児童委員表彰伝達式

1月15日(月)、戸沢村役場にて、「永年勤続民生委員・児童委員表彰伝達式」が行われ、甲州富さん(中沢)と早坂正輝さん(与吾屋敷)の2名に表彰状が伝達されました。

お二方は、長年、民生児童委員として、高齢者の相談の受け口となったり、住民への生活支援を行うなど、地域の福祉向上のために尽力されました。こうした功績が評価され、全国民生委員児童委員会連合会より表彰を受けました。この度は、誠におめでとうございます。

角川地区にて若い力が活躍!

1月20日(土)、角川地区において、山形大学東山禎夫教授の「雪国で考える」の受講学生31名と村民ボランティア12名で除雪ボランティアを行い、主に高齢者・障害者の世帯6世帯の除雪を行いました。

数日前の大雪で降り積もった2mを超える雪を、きれいに除雪しました。除雪をしてもらった方からは「毎日一人でするのは大変だったから助かった」と感謝の言葉が聞かれました。

若い力が戸沢村に元気をくれた1日でした。



ふれヌポ通信

戸沢JVC2大会入賞

12月10日(日)、戸沢村本部長杯が開催され、戸沢JVCが出場しました。予選を1位で通過し、決勝トーナメントでも善戦。決勝では敗れたものの、見事準優勝を果たしました。また、12月17日(日)に行われた舟形BG杯では、決勝を大接戦の末制し、優勝することができました。最高学年の少ないチームですが、残り少ない大会も頑張つてほしいものです。頑張れとざわJVC!



戸沢小学校・中学校より
ご厚意いただきました

12月25日(月)、戸沢小学校・中学校の児童・生徒が戸沢村に共同募金をいただきました。

今回いただいた寄附金は、社会福祉の分野で活用させていただきます。戸沢小学校・戸沢中学校のみなさんありがとうございました。



戸沢小学校



戸沢中学校

『大人の冠婚葬祭マナー新事典』

岩下 宣子

人生において誰しものが直面する冠婚葬祭にまつわるマナーを余すことなく網羅!
(朝日新聞出版社HPより)



『子育てがもっと楽しくなる』

ノート&写真整理術
子育てノート研究会

写真整理ノート、思い出のもの整理ノート、育児日記、献立ノートなど。写真を見るだけでも楽しめて、読んだらお役立ちする、そんな1冊です。(KADOKAWAHPより)



『大人のためのやり直し英語練習帳』

吉田 研作

言えそうと言えない「ものの名前」、使いやすい「会話表現」、うっかり使いがちな「和製英語」、「英語ならではの表現」など、意外と奥深い中学用の辞書よりクイズ形式で出題!あなたは解けるかな?

(小学館HPより)



新刊案内



本のススメ

vol.55



『ママのスマホになりたい』

のびみ

世界中が感動した、シンガポールの小学生の作文『スマホになりたい』を元に、人気絵本作家・のびみが描く、全国のママに読んで欲しい一冊!
(本書帯より)



『コウノドリ』 1巻~10巻

鈴ノ木 ユウ

出産は病気ではない。だから通常の出産に保険はきかない。産科医療は怪我や病気を治す訳ではない。なので通常の出産に産科医は必要ない。だが、何かが起こりうるから産科医は必要なのだ。 (講談社HPより)



共育

最前線

Vol.6

単元名：「村への提言」

共育カリキュラムの総仕上げに、中学三年生は「村への提言」を行います。一人ひとり、自分で追及する内容を考えて取り組みます。テーマの分野は、自然、スポーツ、観光、さらには、少子高齢化まで幅広くあります。分野ごとに「動物と人が安心して共生する村に」、「スノーパーマーケットを誘致して人口増加へ」、「観光スポットへの道の整備」など、具体的なことについて考えています。さらに、「見込まれる予算」、「成功の可能性」の試算まであり、一つひとつの発表の訴えかける力の強さに感心させられます。

村への提言の出発点は、これまでお伝えしてきたように、小学校の活動があります。小学校一〜四年生で身近な地域の人や事象に十分かわり、五年生で戸沢村のよさや特徴を追求し、六年生で他地域との比較から戸沢のよさについて学びを深めていきます。これから小学校の学習や体験が、中学校での学びのテーマにつながります。村長さんをはじめ、参加していただいた方々



を唸らせる発表内容が多かったのは、九年間を通して積み上げてきた学びがあるからです。地域共育カリキュラムの中学校の目標は「地域社会の一員として、地域とのかかわりの中から課題を見つけ、問題解決のために必要なことを共同的に学び、それらを自らの生き方に生かす」です。子ども達は「戸沢村」という学びの窓を通して、人や地域、自然事象などにかかわってきます。自分の考えを明確にもち、他とかわり合うことで自分の考えを再構築し、その考えを発信することで、さらに学びを深めていきます。「村への提言」は、単なる発表の場ではなく、リアルタイム自分の考えを深めている生徒の姿が見える活動の場なのです。

総務課からのお知らせ

場所	積雪量
古口	137cm (昨年同日 130cm)
向名高	122cm (昨年同日 136cm)
下本郷	166cm (昨年同日 139cm)
平根	210cm (昨年同日 205cm)
杉沢	123cm (昨年同日 112cm)

積雪量がチェックできるように！

今年より、戸沢村ホームページにおいて、村内5か所（古口、向名高、下本郷、平根、杉沢）の積雪量が確認できるようになりました。

また、前年の積雪量も同時に確認できるようになっています。是非ご活用ください。

問合せ先 総務課総務係 ☎72-2117

健康福祉課からのお知らせ

認知症カフェ開催のお知らせ

認知症カフェとは、認知症の方やその家族、地域住民や専門職などが相互に情報を共有し、お互いを理解し合う「集いの場」です。

ご本人やご家族だけで抱え込まないよう、交流会に参加して、気分転換してみませんか。物忘れで悩んでいる本人やご家族はもちろん、関心のある方はどなたでも参加できます。お気軽にお越しください。

日時 2月21日（水）13時30分～15時

場所 戸沢村保健センター2階

申込・問合せ先 戸沢村地域包括支援センター ☎32-0661

産業振興課からのお知らせ

戸沢村森林整備計画変更計画（案）の公告・縦覧について

全国森林計画の変更に伴い、戸沢村森林整備計画を変更します。森林法第10条の6の規定により、戸沢村森林整備計画を変更するにあたり次の通り公告し、戸沢村森林計画変更計画の案を縦覧に供します。

縦覧期間 2月1日（木）～3月2日（金）まで

縦覧場所 戸沢村役場2階 産業振興課 地域づくり推進係

意見の提出方法 案について意見がある場合は3月2日（縦覧期間満了日）までに意見書（様式自由）に住所、氏名を記入の上、産業振興課に提出してください。

問合せ先 産業振興課 ☎72-2527

愛玩鳥を飼われている方へ

愛玩鳥のうち、鶏、あひる（アイガモ、フランス鴨を含む）、うずら、きじ、ほろほろ鳥、だちょう、七面鳥を、平成30年2月1日現在、1羽でも飼育されている方は、飼育羽数等に関して知事への定期報告が義務付けられています。

最近飼い始めた方や、今まで報告したことのない方は、ご連絡下さい。

連絡先 最上総合支庁家畜保健衛生課 ☎29-1357



とざわフォトコン2017 受賞作品展

とざわフォトコンテスト2017で各賞を受賞した作品を展示した、期間限定の写真展を開催します。村内各所を回り、下記の日程で展示が行われますので、是非お越しください。

日 程 平成30年2月2日（金）～2月7日（水）

場所：農村環境改善センター

平成30年2月9日（金）～2月14日（水）

場所：川の駅・最上峡 くさなぎ

平成30年2月16日（金）～2月21日（水）

場所：戸沢村役場

平成30年2月23日（金）～2月28日（水）

場所：ぼんぼ館

問合せ先 もがみ北部商工会

戸沢事務所 ☎72-2665



住民税務課からのお知らせ

軽自動車税について

バイクや軽自動車、農耕作業車等の税金は、毎年4月1日現在所有している方に課税されます。廃車などの手続きを忘れると翌年度も課税されますのでご注意ください。

※戸沢村ナンバーの交付を受けている車両の廃車手続きについて

バイク等の廃棄処分するとき、他の人や業者に譲る時、村外に転出したときなどの場合には、住民税務課税務係までナンバープレートを持参し、標識返納書（廃車届処理）の手続きを行ってください。また、特に古くなって使用していない農耕作業車（トラクター等）がある場合は早めの廃車手続きをお願いします。

問合せ先 住民税務課税務係 ☎72-2326

教育委員会からのお知らせ

戸沢村教育振興修学資金について

社会に有為な人材を育成するとともに、教育の機会均等に寄与することを目的としている「戸沢村教育振興修学資金」制度があります。

対 象 高校を卒業した方で学校教育法に規定する大学及び村長が認める学校に進学し、次の要件に該当する方

- ①戸沢村に住所を有する者の子弟
- ②学費支弁に困難と認められる者
- ③出身校又は在学校長の推薦する者

貸 与 額 医学部・歯学部・薬学部 月額5万円（6年以内）
大学・専修学校 月額3万円（4年以内）

申込期間 平成30年2月20日（水）～4月6日（金）

問合せ先 教育委員会 学校教育係 ☎72-3242

危機対策課からのお知らせ



戸沢村 消防団員 募 集



戸沢村では、消防団員を募集しています。消防団は住民の方々が参加する、まちを守り、ところをつなぐ、自主的な防災ボランティアです。ぜひ、あなたの若いチカラをお貸しください。

◆募集資格

戸沢村在住もしくは勤務している方で、18歳以上の健康な方（男女は問いません）

◆消防団員の身分

消防団は、消防本部、消防署と同様に市町村の消防機関の一つであり、その構成員である消防団員の身分は非常勤特別職の地方公務員になります。

◆消防団員の処遇

- 条例に基づき年報酬・手当が支給されます。
- 活動に必要な被服を貸与します。
- 公務災害補償、退職報償金（勤続5年以上）、表彰などの制度があります。

入団申込・お問い合わせ先

危機対策課 防災保護係 TEL：0233-72-2152（内線221）

E-mail：kikitaisaku@tozawa.yamagata.jp

あなたの雪対策はバッチリ？

昨年12月より降雪が続き、今後も断続的な降雪が予測されたことから、村民の安全を確保するため「戸沢村豪雪対策本部」(平成30年1月11日付)を設置しました。雪による被害を未然に防止するため、次の点について十分注意をお願いします。

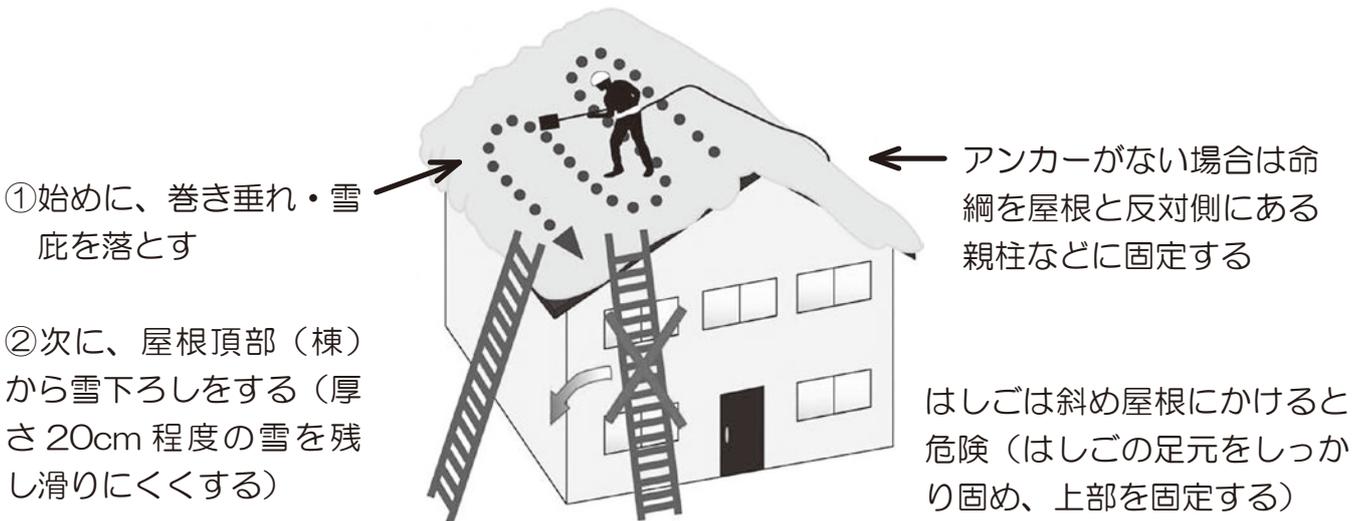
除雪・雪下ろしの際はここに注意！

＼心がけましょう！／

除雪中の事故防止のための10か条

- 作業は家族ととなり近所にも声掛けて2人以上で！
- 低い屋根でも油断は禁物！
- 建物のまわりに雪を残して雪下ろし！
- 作業開始直後と疲れたころは特に慎重に！
- 晴れの日ほど要注意、屋根の雪がゆるんで！
- 忘れずに！ 命綱とヘルメット
- はしごの固定を忘れずに！
- 除雪道具はこまめに手入れ、点検を！
- エンジン을切ってから！ 除雪機の雪詰まりの取り除き
- 携帯電話の携行を忘れずに！

(内閣府、国土交通省の作成資料より)



農作業用施設（パイプハウス等）の倒壊防止に努めましょう！

積もった雪が締まっていくと雪の沈降でパイプハウスの倒壊の可能性があります。ビニールを剥がしている場合でも倒壊したという実例もあります。パイプハウスはもとより、農作業場につきましても降雪時には、除雪・雪下ろしを行い、早めの対策をお願いいたします。



地域おこし協力隊奮闘記

Vol.26

地域おこし協力隊とは、「地方で人口減少や高齢化が進み人材不足が叫ばれる中で、地方での生活を望む都市部の人たちがそこに移り住み、地域の活性化のために、まちおこしの一員となって活動する」。そんな人たちのことを指します。戸沢村でも、3名の「地域おこし協力隊」が村おこしのために活動しています。広報とざわでは、3名の活動の様子を紹介します。

■今月の鈴木英策隊員



角 川里山カフェす
つべ家もたぐさ
んの方々の支えにより、
楽しく運営させていた
だいております。あり
がとうございます！

私も戸沢村に来て早2年半。今年の7月
末で任期を終えます。任期とともに人気も
終えないように最後まで頑張ります。
田舎体験塾つのかわの里のNPO化はも
とより、つのかわの冬の風物詩になってい
る角川雪回廊物語と、引き続きやりがい
のあることが続きます。
今後ともよろしくお願いいたします!!



■今月の鶴川幸代・鶴川慶三隊員



2 月4日、東京の虎ノ門ヒルズで行わ
れる、「総務省主催「地域おこし協力
隊全国サミット」」に戸沢村が出席します。
移住を決めた隊員のパネルディスカッショ
ンの他、全国から集結した地域特産物の販
売やPRが行われます。

北海道	利尻富士町	山梨県
秋田県	藤里町	長野県
山形県	戸沢村	岐阜県
福島県	いわき市	静岡県
	喜多方市	
	猪苗代町	



私たちは、矢口人形さんと制作を進めて
きた「桐粉人形とろぼん」を売り出しま
す。ぽんぼ館の特徴であるトロトロのお湯
に浸かった狸「とろぼん」というキャラク
ターを作り出しましたが、今回は何か+α、
現代の生活に合うような実用性のある付加
価値をつけたいと試行錯誤しました。そこ
で生まれたのが「香る人形」です。頭にの
せたタオルの部分にアロマオイルを垂らす
と、香りのする人形として飾ることができ



▲お正月の藁細工、巨大門松
を制作

▲角川雪回廊物語のポスター
も制作

ます。玄関やトイレの消臭に、お部屋のイ
ンテリアに使用できます。油が染み込み定
着するという桐粉の性質を生かしました。
同時に商品化には間に合わなかった、伝統
工芸・木目込み技術を生かしたカードホル
ダーも展示します。ビジュアルの鍵を握る
ポスター、パ
ッケージデザ
インなどの印
刷物、急ピッ
チで制作して
いるところだ
す(汗)



お知らせ版

～各種イベントや募集案内、
各課からの連絡～

伝言板コーナー

「連合労働相談ホットライン」

- 日時 2月8日(木)～10日(土)
10時～19時
- 相談方法 電話相談
- 相談電話 0120-154-052

- 相談内容 解雇、賃金カットなどの労働に関する相談

「有機農産物認証制度講習会」

- 日時 2月21日(木)
10時～16時
- 場所 水土里ネットやまがた
- 内容 有機農産物認証制度の概要と認定申請の方法について
- 受講料 669円

「スキル向上研修」

- 問合せ先 公益財団法人やまがた農業支援センター
☎023-642-2905
- 日時 2月21日(水)、22日(木)
9時15分～16時
- 場所 山形県立山形職業能力開発専門学校
- コース名 売れる自分の育て方

- 申込・問合せ先 山形県立山形職業能力開発専門学校
☎023-644-9227

「オールもがみ合同就職面接会」

- 日時 2月22日(木)
13時～16時
- 場所 ニューブランドホテル新庄
- 対象 最上地域で就職・転職希望の方
- 参加企業 最上地域の企業約25社

- 問合せ先 最上地域雇用創造推進協議会
☎0233-23-6212

「プラチナナース研修会」

- 日時 2月24日(土)
13時30分～15時30分
- 場所 山形県看護協会会館
- 対象 プラチナナース50名程度
- 内容 研修会・個別相談会
- 申込・問合せ先 公益社団法人山形県看護協会
☎023-646-8878

「生活なんでも相談ダイヤル」

- 日時 2月22日(木)～24日(土)
10時～17時

- 内容 生活に関する悩みや困りごと相談
- 相談方法 電話相談
- 相談電話 0120-39-6029

「第6回ゆめりあ映画上映会」

- 日時 2月25日(日)
第1回 10時～
第2回 13時30分～
- 場所 ゆめりあホール・アベージュ
- 定員 各回75名
- 上映作品 いしゃ先生
- 申込・問合せ先 最上広域交流センター
☎0233-28-8888

「第18回ゆめりあハンドメイド・マーケット」

- 日時 2月25日(日) 10時～15時
- 場所 花と緑の交流広場
- 出店 先着20店(2月16日(金)より受付開始)
- 問合せ先 最上広域交流センター
☎0233-28-8888

「ふれあい看護体験」参加者募集

病院や福祉施設で患者さん達とのふれあいを通して、命や医療、看護について考えてみませんか。

日時 5月6日(日)～19日(土)の施設実施日

体験施設 県内の病院、診療所、福祉施設、訪問介護ステーション等

応募方法 (1) 高校生は学校を通じて申し込む。

(2) 高校生以外の方は、下記の内容をはがきに明記し申し込む。

- ①住所 ②氏名 ③性別 ④年齢 ⑤職業又は学校名
⑥電話番号 ⑦希望施設名・希望実施日 ⑧白衣サイズ

申込期間 2月5日(月)～23日(金)

問合せ先 〒990-2473 山形市松栄1-5-45 山形県看護協会 ☎023-685-8033

求職者の生活・就労相談会

期 間 2月22日(木)～24日(土)
10時～17時
相談内容 求職者の生活や住まい、就職活動に関する悩みなど
相談方法 電話相談
相談電話 0800-800-7867
相談費用 無料

グリーンケア講演会

日 時 3月15日(木) 14:00～15:30
場 所 霞城セントラル
内 容 グリーンケアについての講演
講師：伊藤高章氏
申込期限 3月7日(水)
申込・問合せ先 県精神保健福祉センター
☎023-674-0139

借金と心の無料相談会

下記の日程で弁護士による「借金返済」、保健師による「心の問題」についての相談会を開催します。
日 時 3月5日(月) 9時30分～16時30分
場 所 山形財務事務所
予約受付期間 3月1日(木)まで
予 約 先 山形財務事務所 ☎023-641-5201

平成30・31年度「国有林モニター」の募集

東北森林管理局は、国有林の管理・経営に皆さまの声を役立てていくため、モニターを募集しています。
募集人員 48名程度
募集期間 2月9日(金)まで〔当日消印有効〕
任 期 平成30年4月1日から2年間
問合せ先 東北森林管理局 ☎018-836-2228
HP:<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>

健康カレンダー (2月分)

日程	内容	場所	時間
1日	健康相談・結果報告会	蔵岡公民館	9:30～
		勝地公民館	13:30～
13日	母親教室・母子手帳交付	保健センター	13:30～
14日	1歳児歯科健診 平成28年11月 ～平成29年1月生	保健センター	13:00～
	2歳児歯科健診 平成27年11月 ～平成28年1月生		
	フッ素塗布(無料) 平成28年 2月～4月生 平成28年 8月～10月生		

**弁護士によるB型肝炎特別措置法
相談会(無料)**

日 時 3月24日(土) 13時30分～16時
場 所 酒田市中央公民館
内 容 集団予防接種でB型肝炎になった人とその家族を対象とした弁護士による無料相談会
問合せ先 全国B型肝炎訴訟新潟事務所
☎025-223-1130
※当日会場での申込可
※無料電話相談会も開催します
日 時 2月17日(土) 10時～15時
相談電話 025-223-1130

**編集者の
コラム Vol.70**

先月あたりから肌を刺すような寒い日が多くなってきたような気がします。みなさん、体調を崩してはいないでしょうか。そんな中、1月の半ばに角川の平根地区において、今年の積雪量が2mを超えたとの報告がありました。実際に行ってみると、自分の身長より高い雪の壁に驚かされました。そして、なんとといっても、この時期に心配になるのは、屋根の雪下ろしや屋根付近の除排雪の際の事故です。雪下ろし作業を行う時は、一人では行わない、高所では命綱をつけるなど細心の注意を払って作業を行うようにしてください。

さて、今月はその雪を利用した「角川雪回廊物語」が開催されます。幻想的な絵回廊を是非ご覧になってみてください。



▲広くゆったりとした店内

▼鈴木さん自ら調理を行う



子どもから大人までみんなが、くつろぐことのできるカフェにしていきたいと思っています。お気軽にお越しください！



すっぺ家店長
鈴木 英策さん

12月24日(日)、角川里山カフェ「すっぺ家」がオープンしました。24日に行われたオープニングセレモニーでは、村内外から約70名が集まり、オープンを祝いました。店長を務める地域おこし協力隊の鈴木英策さんは「角川の魅力を大勢の人に伝え、多くの人が集う拠点にしていきたい」と抱負を語りました。

「すっぺ家」OPEN!



「すっぺ家」Facebook

土日祝(11:00~15:00)の営業になります。こちらで営業時間をご確認ください。



「広報とざわ1月号No.554」の『戸沢道場AED講習会』の記事において、誤りがございました。

■(誤) 講師：ほりばた接骨院高橋さん → (正) 講師：アルソック山形高橋さん、村形さん
以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

村の人口と世帯 (12月末現在)

4,704人(-9人)〈男2,265人(-4人)、女2,439人(-5)〉1,617世帯(-5世帯) ※ ()内の数値は、11月末との比較



表紙のことば

表紙は、戸沢保育所で行われた節分豆まぎの様子です。園児たちは、「鬼はそと、福はうち」の掛け声とともに、鬼に向かって豆を投げ、福を呼び込んでいました。

編集・発行

広報とざわNO.555
発行日 平成30年2月1日
編集・発行 戸沢村総務課
山形県最上郡戸沢村大字古口270
TEL 0233-72-2111
FAX 0233-72-2116
URL <http://www.vill.tozawa.yamagata.jp/>
(パソコン及び携帯共通)
E-mail: tozawa@vill.tozawa.yamagata.jp



URL



メルアド